

(様式2)

平成14年度 次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業
実施報告書

1 学校名

土岐市立濃南中学校

2 実施内容

研究課題

インターネットを活用した教材の指導計画の作成

実施時期

第1学期

実施にあたって

社会科では、様々な単元でパソコンを活用する授業を組むことにした。
そこで、以下の例について、情報収集に関わる実践を報告する。

実践 社会科・地理分野(2年生) 教材用素材写真探索...教師の教材開発例
実践 社会科・公民分野(3年生) インターネットを使った調べ学習...生徒の学習例

実践

実践 ...単元『都道府県の調査』

教科書では、都道府県の中で岩手県・福岡県・東京都の3つが例示してある。従って、自分たちのくらす「岐阜県」について学習を進めるためには、生徒への提示資料を独自に探して、授業を組む必要がある。そこで、教材として使用する「景観写真」をインターネットの中から探した。岐阜県は、「飛山濃水」といわれることから、景観としては「山」や「川」の写真、また県庁所在地「岐阜」の写真というように考え、次の5枚を選定した。

- 1)岐阜市 - 金華山と市街地の写真 (<http://www.crdc.gifu-u.ac.jp/zukan/nagara/gi-01.html>)
- 2)加子母村 - 東濃ひのきの写真 (<http://www.npsg.co.jp/kinoie/hinoki.html>)
- 3)御嶽山 - 小坂町よりの眺望写真(<http://www.crdc.gifu-u.ac.jp/zukan/tigaku/603010.html>)
- 4)白川村 - 世界遺産の合掌造りの写真(<http://heritage.jp/japan.html> copyright © 2002Tetsu)
- 5)海津町 - 水田地帯の写真(『低地のくらし』(県小社研制作CD)の中より)

そして、単元の第1時として、この5枚の写真を使って、岐阜県の特徴をつかませるというねらいで授業を実施した。

実践 ...単元『現代社会とわたしたちの生活』

この単元では、生徒自身がテーマを設定して、そのテーマに沿ってインターネットを活用して調べ学習をし、それをまとめるという授業を組んだ。

現代の社会を探るということで、教科書にあることを参考にして、「電化製品」「食料自給率」「国際化」など、テーマを決めてインターネットで調べていくことにした。

3 成果と課題

- ・実践 では、岐阜県学習の導入ということで、多面的な視点からの追究を求めたわけであるが、景観写真を示したことによって、ある程度県内の各地域のイメージをつかむことができたと考える。

さらに、いろいろな情報を引き出すためには、統計資料や土地利用図などの別の資料も必要となってくる。

- ・実践 で使用した景観写真であるが、これがいいという写真を探すことが難しかった。例えば、「濃水」のイメージをどういった写真で示すかということである。

また、使用にあたっては、著作権の問題なども考えておくことが必要である。

- ・実践 では、「食料自給率」は、簡単にほしい情報を見つけられたが、テーマによっては、ほしい情報がなかなか探せないという生徒もいた。

得られた情報を元にまとめる方法は、B4用紙に直接書いていくという方法をとった。この方がまだ自分の調べたことがまとめやすいと考えたからである。

4 今後の方向

- ・3年生は、修学旅行の事前学習でもインターネットを使って調べる学習を実施した。また、1年生でも「世界の旅」を企画する授業を実施した際、全部の生徒ではないが、インターネットを使って自分のテーマに沿った資料をみついていた。

このように、情報活用能力の内、情報収集の力はかなりついてきているといえるだろう。さらには、自分のほしい情報をいかに的確に素早くみつめていくかということである。

Y A H O OやG O O G L Eといった検索エンジンを使って、多くの情報を手に入れることができる。しかし、たくさんの情報の中からどう絞り込むか、検索項目を何にするかなど、どう教えていくのが課題である。一つには、リンク集の利用がある。調べる項目によっては、既存のものを利用していくことがよい。

- ・インターネットで得られた情報の「質」をきちんと評価していくことも今後の課題となる。例えば、統計資料でいえば、それが何年のものであるかということであり、グラフ化されているものについては、その表現方法に誤りがないか、等ということである。こうした力もつけていくことを考えなければならない。

また、分布図などでは、必要とする情報が得られない場合も多く、自作資料として作っていくことも検討しなければならない。そうすることによって、社会科の本質に迫ることができるのではないだろうか。

インターネットで情報を集めればそれで終わり、とならないようにこういった指導計画を立てていくのが今後の課題である。